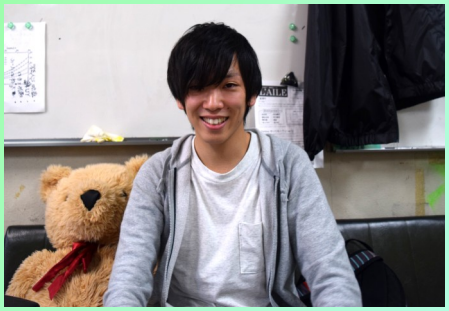
平成28年10月発行

工学部新聞 NO.23

☆第22回吾妻祭☆

↑ミーティングの様子



↑実行委員長の吉田さん

≪恒例企画≫
お化け屋敷
ビンゴ大会
ミス・ミスターコン

≪ステージ企画≫
平塚千瑛トークライブ
二人目のジャイナライブ
髭男爵お笑いライブ
住岡梨奈ライブ(米短)

～目次～

1ページ
•第22回吾妻祭
2,3ページ
•未来の山大生集結
オープンキャンパス at 山大
•触って楽しい科学フェスティバル
•夜空を賑わす夏の風物詩
～花火大会 in 米沢～
4ページ
•取材に協力してくださった方々
•学会等での表彰
•編集後記
•今後のお知らせ
•2016年度工学部新聞部メンバー

１０月８日(土)から１０日(月)にわたって第２２回吾妻祭が開催されます。８日(土)は米沢女子短期大学及び米沢栄養大学で行われ、９日(日)と１０日(月)には山形大学工学部キャンパスで行われます。

今年の吾妻祭のテーマは『tryangle』。これは、「三角形」のtriangleと、「挑戦する」のtry、２つの意味をかけ合わせて生み出されました。triangleは米沢栄養大学を加えた3大学合同の学園祭が、今年で３周年目を迎えることを意味しています。

毎年期待が高まるゲスト。お笑い芸人の髭男爵が来てくれるそうです！吾妻祭が待ちきれませんね！

実行委員長の吉田英世さんは、今回の吾妻祭について『先輩方が築いてきた良い部分は残し、伸びしろのある部分は改良を重ねてきました。今年のテーマ、tryangleの名のもとに３大学合同で協力して準備を進めています。お客さんや関係者、ゲストの方々や実行委員みんなが楽しんでもらえるような吾妻祭にしたいです！』と意気込みを聞かせてくれました。

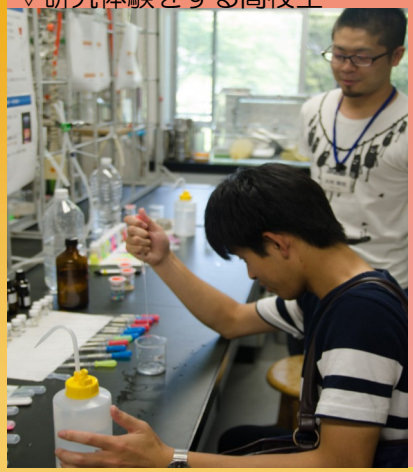
未来の山大生集結 オープンキャンパス at 山大

去る8月5日（金）、ここ山形大学工学部では、オープンキャンパスが開催されました！
東北を中心に、全国津々浦々からたくさんの高校生が足を運び、模擬講義や研究室見学に参加しました。

参加した高校生に話を聞いてみると、「山形大学工学部の雰囲気を楽しむことができた」「興味のある研究室の学生の方たちから直接お話を聞くことができて、入学したいと思い始めた」「初めて大学の装置や機器を見た。教科書でも見たことないようなものがいっぱいあってすごいなと思った」などの声が多くありました。なかには「大学の学食を初めて食べた。（今日食べたメニューを）食べるために（工学部に）入りたい」という高校生も。皆さん、実際に中に入って初めて分かった山形大学工学部の雰囲気・様相に胸を躍らせている様子でした。

△研究室にて研究内容の説明を受けている高校生

▽研究体験をする高校生



高校生だけではなく、なんと、小学生や中学生も保護者と研究室を訪問して実験を体験していました！大学の研究を目の当たりにし、初めての本格的な科学実験に目を輝かせていました。研究者のタマゴたちに期待が高まりますね！

なお、オープンキャンパスは毎年開催しています。今年を逃してしまった高校１・２年生は、ぜひとも来年参加し、ここ山形大学工学部を感じに来てください！

知ってる？？花火の種類！！

花火には色々な種類があります。あなたはいくつ知っていますか？

光の尾を残しながら、中心から外側に広がっていく“菊”。尾を引かずに光の点の移動で丸く広がる“牡丹”。ひまわりやちょう、土星など様々な絵や文字を浮かびあがらせる“型物（かたもの）”。様々な種類の花火を組み合わせて連続して打ち上げる“スターマイン”・・・。

他にもたくさんの花火があります。よく見る花火の種類を覚えておくと、花火を見るのがより一層楽しくなるかもしれません☆

画像】us-life-navi.net/1782.html

参考】冴木一馬「花火のえほん」あすなろ書房(2008)

☆触って楽しい☆
「科学フェスティバル」

スーパーボールを作る様子

第９回目となる「科学フェスティバルinよねざわ2016」が7月30日(土)、31日(日)に山形大学工学部で開催されました。このイベントは、見る、聞く、味わう、さわる、におう、など５つの感覚をたくさん使って科学の世界を体感するものです。今年は、2041人も訪れ、親子で楽しむ姿が見られました。ブース数は44で研究室の学生や高校生などが出展しました。

何が楽しかったか子供たちに聞いてみると、スライムやスーパーボール、缶バッチの作成、液体窒素で野菜や花を凍らせるものが挙げられ、自転車を漕いで電気を発電するブースでは長蛇の列ができていました。スライムを作った女の子は、「ゼーリーみたい、ひんやりして気持ちいい、変な形をしている、きれいな色」と、手にのせて見せてくれました。缶バッチを作っていた兄弟に、何を作ったのか聞いてみると「自分で描いたにこちゃんマークを缶バッチにした」とさっそく胸元につけ、嬉しそうに話していました。スタッフ側の高校生は、「子供たちが次々と質問してきて、自分でも気づかなかった点に疑問を持つので新しい発見があり楽しい」、「山形大学の工学部に進みたい」と話していました。

このイベントを通して、普段体験できないことができ、科学の不思議や科学技術の魅力に触れ、良い夏の思い出になったようでした。

液体窒素で遊ぶ子供たち

プラバンアクセサリーの絵を描いている様子

夜空を賑わす夏の風物詩
～花火大会in米沢～

7月30日(土)、〝第78回東北花火大会〟が松川河川敷にて開催されました。日中に降っていた雨も打ち上げ前にはぴたりと止み、色や形、音の違ったさまざまな花火が夏の夜空を彩りました。目玉は何といっても、米沢市のシンボルとも言われる吾妻山を表現したナイヤガラ！全長２００ｍ、高さ２０ｍもの光のシャワーが辺り一面に降り注ぎ、その迫力にあちこちから「おぉー！」と言う驚きの声が聞こえてきました。

また、8月5日(金)には松が岬公園にて“第５５回米沢納涼水上花火大会”が開催。東北花火大会とは一味違い、遊び心がある花火が多くこちらも見ごたえ抜群でした。花火大会と一言で言っても、大会ごとに違った特色があって面白いですね！

県内では他にも、山形市の“山形大花火大会”や酒田市の“酒田花火ショー”、鶴岡市の“赤川花火大会”などたくさんの花火大会が毎年催されています。皆さんはこの夏、どの花火大会に行きましたか？

吾妻山を表現したナイヤガラ

※学年は受賞当時のものを掲載しています。

学　会　等　で　の　表　彰

日本応用糖質科学会東北支部「最優秀賞」

平成28年7月16日

やの　ひろこ
矢野　裕子さん
有機材料システム専攻 M1
（愛知県立松平高等学校出身）

題目：アミロース含有量の違いが米粉100%パンの製パン性とレオロジー特性に与える影響

日本応用糖質科学会東北支部「奨励賞」

平成28年7月16日

むらかみ　せいご
村上　誓吾さん
有機材料工学専攻 D3
（愛知県東海高等学校出身）

題目：米粉粒度が米粉100%生地の発砲に及ぼす影響

2016年日本油化学会若手の会 サマースクール「ポスター賞銀賞」

平成28年8月5日

しのみや　こうき
四宮　功貴さん
バイオ化学工学科 B4
（宮城県仙台第一高等学校出身）

題目：寒天ゲル表面における非線形摩擦現象

7th International Symposium on Design,Operation and Control of Chemical Processes「Excellent Student-Paper

平成28年8月15日

すずき　けんた
鈴木　健太さん
物質化学工学専攻 M2
（宮城県仙台南高等学校出身）

題目：Evaluation of Energy Saving and Economic Performance of Heat Pump Assisted Distillation Columns

日本食品科学工学会第63回大会「最優秀発表賞」

平成28年8月26日

やの　ひろこ
矢野　裕子さん
有機材料システム専攻 M1
（愛知県立松平高等学校出身）

題目：米澱粉の分子鎖構造の違いが米粉100%パンの製パン性とレオロジー特性に与える影響

5th Asian Conference on Mixing のポスターセッション「Excellent Student Award」

平成28年8月30日

あんどう　まさのり
安藤　雅典さん
機械システム工学専攻 M1
（愛知県立新川高等学校出身）

題目：Optimization of Cyanoacrylate Hollow Particles from Microbubbles for Medical Application

5th Asian Conference on Mixing のポスターセッション「Excellent Student Award」

平成28年8月30日

もりと　ひろとし
森戸　寛敏さん
機械システム工学専攻 M1
（茨城県立下館第一高等学校出身）

題目：Influence of Orifice Shape of Ultrasonic Microbubble Generator on Bubble Generation Behavior

International Conference on Flexible Printed Electronics

平成28年9月7日

すがの　りょう
菅野　亮さん
有機材料工学専攻 D2
（秋田県立湯沢高等学校出身）

題目：Ultra-flexible Nonvolatile Memories for Imperceptible Electronics

International Conference on Flexible Printed Electronics

平成28年9月7日

みなみき　つくる
南木　創さん
有機材料工学専攻 D3
（独立行政法人国立高等専門学校機構 函館工業高等専門学校出身）

題目：A Printed Biosensor based on a Dual-Gated Organic Transistor

編集後記

夏も終わり、紅葉がきれいな季節になってきました。秋にはスポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、など色々ありますが、あなたの秋は何ですか？私は最近、マンネリ化した生活を変えるため、新しいことに挑戦する、「ときめきの秋」にしようと思います（笑）

今回で新聞は23号となり、無事に発行することができました。取材に協力して下さった方々、ありがとうございました。何か質問や疑問がございましたらお知らせ下さい。次号もまたよろしくお願い致します！

吉村春香

今後のお知らせ

○吾妻祭

日時：10月8・9・10日(土・日・月)

場所：8日→米沢女子短期大学・栄養大学
　　9・10日→工学部

取材に協力してくださった方々

※D=博士後期課程、M=博士前期課程、B=学部
学年は一部今年度のものを掲載しています。

よしだ　ひでよ
吉田 英世さん
物質化学工学科（B3）
（秋田県立横手青陵学院高等学校出身）

1ページ

2016年度工学部新聞部メンバー

●菅野育美(バイオ化学工学専攻2年)…新聞部4年目。紙面p2～3の「夜空を賑わす夏の風物詩～花火大会 in 米沢～」担当。
●渡邊健一郎(機能高分子工学科4年)…新聞部4年目。紙面p2の「未来の山大生集結 オープンキャンパス at 山大」担当。
●荒引陽(応用生命システム工学科4年)…新聞部3年目。
●蒲地勇治(物質化学工学科4年)…新聞部2年目。
●吉村春香（システム創成工学科4年)…新聞部1年目。紙面p4の「触って楽しい科学フェスティバル」担当。
●高橋佑佳(機械システム工学科3年)…新聞部2年目。紙面p1の「第22回吾妻祭」担当。

♪新聞部に興味のある方は下記の連絡先までお気軽にご連絡を(^O^)/お待ちしています！

☆各種の活動や受賞、表彰などを掲載させていただきます。
連絡先→Tel: 0238-26-3419
E-mail: koukoho@jm.kj.yamagata - u.ac.jp
☆本誌のカラー版がPDFでご覧になれます。山形大学工学部新聞で検索！
ホームページ→http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/shinbun/index.html